

第165回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和4年7月22日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北交通審議会第165回船員部会

日 時 令和4年7月22日(金) 13:30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理

豊田委員、鈴木委員

労働者委員 : 鈴木委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 増富委員、平岡委員、村上委員(欠席)

運輸局 : 佐藤海事振興部長(欠席)、今泉海事振興部次長、

菊地船員労働環境・海技資格課長

上村船員労政課長、鈴木専門官、鈴木労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(5月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

資料8 「めざせ!海技者セミナーin仙台」開催結果概要

◎開 会

〔第165回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

【高橋（真） 部会長】

それでは、議事に入ります。

お手元にあります議事次第の議題（1）管内の雇用等の状況について、事務局から報告をお願いします。

〔上村船員労政課長から資料1～7に基づき報告〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問ございますか。

【高橋（雅） 労働者委員】

資料1の3ページの地域への求人において、漁船その他で大分増えていますが、増加した理由を教えてください。

【上村船員労政課長】

13名という数字ですね。資料を持ってきますので、後ほど回答させていただくことでよろしいでしょうか。

【高橋（真） 部会長】

それでは後ほど回答をお願いします。

その他にありますか。

【奈良労働者委員】

1点、質問をお願いします。

資料6の求人倍率の漁船が今年の4月、5月で非常に改善されて、3倍を超えるところから1.5倍になっており、その理由としては、先ほど資料3の2ページ目で会社の求人数がかなり減っている状況という説明がございましたが、その辺の理由がわかれば教えていただきたいと思います。以上です。

【高橋（真） 部会長】

この件について、わかりますか。

【上村船員労政課長】

こちらも確認して後ほど回答させていただきます。

【奈良労働者委員】

お願いします。

【高橋（真） 部会長】

それでは、この2点は後でお話いただくことにします。

そのほかございますか。よろしいですか。

それでは、続きまして、議題2の情報提供に入ります。委員の皆様から情報提供をお願いします。労働者委員から情報提供をお願いします。

【高橋（雅） 労働者委員】

それでは、私から。7月1日、東北地区の船員教育機関と海運、水産関係団体との懇談会を開催しまして、教育機関からは8校8名、東北運輸局より1名、その他に会社関係者が約30名、それから組合の執行部から10名ほど参加しました。この懇談会は今回で6回目になりますが、地域の漁業、船員確保、育成、あと定着の問題について話し合った会議です。

その中で、学校の先生からは、生徒が船員を希望しても、親が反対してしまうと。ですから、親のほうの説得もある程度必要でないのかという意見もありまし

た。その他に世代のギャップ感、要は今乗っている船員と新しく入る船員の間で年齢の差があって、例えば言葉の問題で年配の方は地元の言葉で、なまりの強い言葉で話されると。今の人達は標準語が主ですので、なかなかコミュニケーションがとれないという状態でやめてしまうという話でした。

そういう問題意識を持って、今後も船員の定着、新卒の船員の確保などに向けて取り組んでいきたいと思いますということを確認しております。

2点目は、7月10日ですが、捕鯨母船の日新丸が仙台に入港しました。三陸沖でニタリクジラ50頭を捕獲しトン数で言いますと355トンの製品を仙台港に水揚げしました。一部、生の肉も持ってきまして、結構いい値段で販売されたということを知っております。

あともう一点が、7月15日ですけれども、石巻の宮城県水産高校で一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが主催して漁業ガイダンスを開催しました。このガイダンスには漁業会社5社が参加し、高校からは3年生の航海技術類型の生徒が9名、機関工学の生徒が11名、専攻科の機関が6名、航海の3名の生徒が5つのブースに分かれて、会社の漁船漁業について約20分ほど説明を受けたという内容です。

ちなみに、参加した漁船会社は、遠洋底曳き、遠洋かにかご、海外まき網、近海まき網、遠洋マグロ船、遠洋カツオ一本釣り船、沖合底曳き網の漁船を持っている会社5社です。

以上です。

【高橋（真） 部会長】

参加した会社は県内の会社ですか。

【高橋（雅） 労働者委員】

県内が2社で、県外が3社です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。そのほかございますか。

【鈴木労働者委員】

気仙沼ですが、8月20日からの大型サンマ船の出漁が近づいていることもあり、7月20日前後から準備、整備が始まりました。まだ早いといえば早いのですが、ほとんどの大型サンマ船が気仙沼にいるものですから、準備作業する場所が順番に回ってやらないと間に合わないということで、今から始まっています。操業海域に向けては、例年ですとロシアの200海里の中を航行するのですが、ロシアとウクライナの戦争の影響で、日本がそこを航行できないので、油も高いので、今年は厳しいのではないかという話も出ています。

以上です。

【高橋（真） 部会長】

この前、ニュースで、釧路に水揚げされたサンマが1尾1万円と報道されてますが、今年もやっぱり高値でしか買えない状況ですかね、見込みとしては。

【鈴木労働者委員】

そうですね、サンマもとれないという予想も出ていますので。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。奈良委員、どうぞ。

【奈良労働者委員】

今の話と関連しますが、小名浜地区のサンマ漁船、こちらも7月20日頃から全員集合しまして、例年、お盆過ぎに出航しておりますが、こちらも出航に向けた準備が始まっております。

以上です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

それでは、使用者委員からお願いします。増富委員、お願いします。

【増富使用者委員】

7月14日、北海道知床沖の観光船の事故を受けまして、国土交通省の有識者委員会が対策見直しの中間取りまとめを公表しました。基準が曖昧だった行政処分につきましては、許可の取り消し、事業停止の前段階としての船舶の使用停止命令を新設します。違反点数の累計で自動的に処分を決めるというような仕組みになっていくようです。9条関係につきましては、携帯電話は通信設備として認めず、業務用無線か衛星電話配備を促していくと。小型旅客船のほうも現在一旦許可を得れば事業継続できる状況ですが、原則5年更新制とするような取りまとめになっております。船舶側のドライブレコーダーの搭載も今後検討していくとのこと。

以上です。

【高橋（真）部会長】

ありがとうございます。

それでは、平岡委員。

【平岡使用者委員】

内航主要元請オペレーター58社の輸送量についてですが、令和3年度は前年対比で5.2%増加しましたが、今年は2月から5月までの4か月連続で前年割れが続いております。主因は、自動車の大幅な減少でございます。中国の都市封鎖やロシアのウクライナ侵攻、原油高、物価高に伴う消費減退も影響しております。また、新型コロナウイルス感染者も急増しており、さらなる景気後退が懸念されます。

以上です。

【高橋（真）部会長】

ありがとうございます。そのほか、皆様から何かございますか。よろしいですか。

それでは、事務局から先ほどの件に関して、お願いします。

【上村船員労政課長】

まず、1点目の漁船その他の内訳ということですが、官公庁の漁業調査船または試験船の定期採用の試験の時期ということで、一時的に求人が増えた状況になっているところでは。

2点目の会社の求人数の減少についてですが、例えばマグロ船などは、それほどプラスマイナスが激しいということではなく、ほぼ平均した数で求人というのがありますが、それ以外の魚種については、これも時期的なものかとは思いますが、前回、前年度は増えておりましたが、今回、マグロ以外の魚種のところで減ったことにより、相対的に求人数が減っているという状況です。

【高橋（真） 部会長】

この件については、よろしいですか。

そのほかございますか。

なければ、議題（3）のその他に入ります。

資料8の「めざせ！海技者セミナー in 仙台」開催結果について、事務局からお願いします。

[事務局から資料8に基づき説明]

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。この海技者セミナーはWebと対面による参加者は重複している方もいますか。

【事務局】

そうです。Web方式と対面方式のどちらにも参加した人はいます。

【高橋（真） 部会長】

わかりました。ありがとうございます。

今の報告について、何かございますか。

【増田部会長代理】

今回、参加した高校生、宮古短大生が、実際に個々の企業に入社するためには、この後、面接をお願いして、相互にマッチングしていくというそういう流れになるのかなと思いますが、高校生の就職はイメージがよくわからないのですが、学校の先生がここの会社はどうかとかするのですか。

【高橋（真）部会長】

高校は解禁日が決まっているので、高校生は選考解禁が9月16日からだと思いますが、おそらく面接、正式な採用の活動は、その解禁日前にはできないと思います。

【鈴木（昭）公益委員】

私から宮古海上技術短大についてお話をさせていただきますと、今回参加したのは、実は1年生の学生です。といいますのは、現在2年生は4月から12月まで9か月連続で現在も乗船実習に行っております。実はこの乗船実習に行っている間に、会社からいただいている求人票から自分が行きたいという会社を選んで、船の中あるいは停船のときに休暇がありますので、その停船中に履歴書等を書いて学校に送って、そして学校から会社のほうに郵送しております。従いまして、今の1年生が2年生になったときにどの会社を選ぶか、その知識をこの海技者セミナーで学ぶというような位置づけになっております。今回ウェブ、それから対面とどちらも参加させていただいたのですが、我々学校としましては、とにかく同じ会社であっても今回こういった形で第2回目はかなり多くの会社に参加いただいたので、できるだけ自分の行きたい船種のみならず、興味のある会社の話聞いて、そこから次年度、ミスマッチがないような会社を選ぶようにという方針で進めております。

ですから、今のご質問のような、この後の面接云々は、来年の話になりますので、宮古短大では、ここからすぐに面接という話になるということはないです。

【高橋（真）部会長】

宮古短大の場合は、基本的に1年生が参加して情報収集を行う場になるという

ことですね。

【鈴木（昭） 公益委員】

はい、そうです。また、学生には感想文等を書かせておりますが、自分が聞いた会社、話の説明を聞いた会社など、最低3つは行きなさいということで話をしていますが、やはりなかなか混雑して多く聞けないという学生もいて、今回2つしか話は聞けなかったとかという学生もおりました。ただ、今回も本校のために、午前中に時間を設けていただきまして、本当にありがとうございます。その配慮のおかげもありまして、本校の生徒は多くの会社の説明を聞くことができたという報告を受けております。

以上でございます。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。そういう学生の声というのは、主催者側の運輸局でも把握してますか。

【上村船員労政課長】

運輸局としても独自にアンケートを実施しており、様々なご意見、感想などはいただいている状況でございます。

【高橋（真） 部会長】

アンケートの結果を参考にして、翌年のイベントの開催の時期とか内容を検討されると。ありがとうございました。

そのほかございますか。よろしいですか。

それでは、本日の議事はこれで終了となります。

次回の船員部会は、8月26日金曜日の13時30分から、会場は4階会議室で開催します。

◎閉 会